

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

# MESC TECHNICAL NEWS

No. M380-39-9910

## 3822 グループ和文ユーザーズマニュアル追加情報 ( 総集編 )

3822 グループ和文ユーザーズマニュアル ( 1994 年 7 月発行 : HU-036A ) 関連で、これまでに発行した追加情報のニュース ( 下記参照 ) を、このたび集約しました。本マニュアルをご使用の際は、留意のほどよろしく申し上げます。

### 3822 グループ和文ユーザーズマニュアル関連ニュース

- (A) M380-19-9408 3822 グループユーザーズマニュアル規格変更及び修正のお知らせ
- (B) M380-21-9501 3822 グループユーザーズマニュアル追加情報(REV.B)
- (C) M380-24-9507 3822 グループユーザーズマニュアル追加情報(REV.C)
- (D) M380-36-9907 7500/3820/3822/3825 グループ和文ユーザーズマニュアル追加情報

( )内の英字は、正誤表中の REV. 項目の英字と対応します。  
「REV.E」は今回新たに追加した情報です。

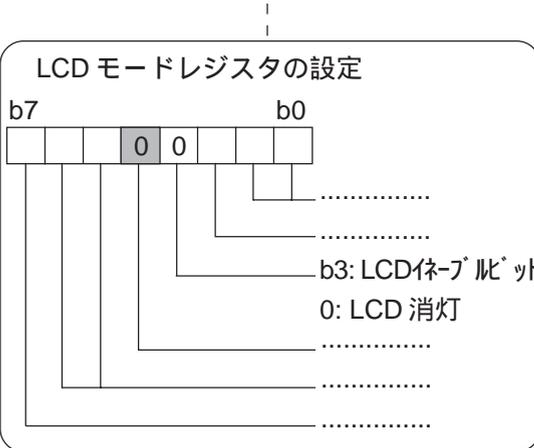
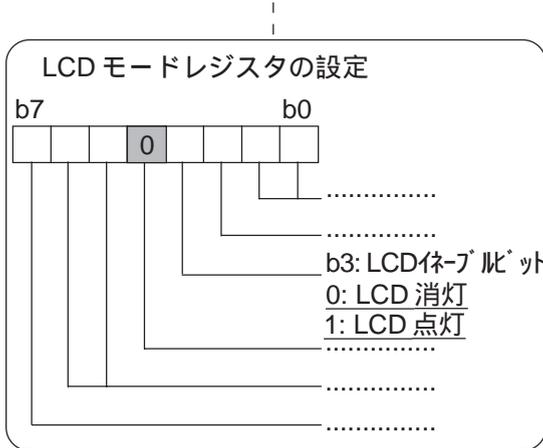
Rev.	訂正箇所	誤		正			
A	P1-8 表 3 サポ - ト製品 一覧	製品形名	パッケージ	製品形名	パッケージ		
		M38223M4-XXXHP M38223E4-XXXHP M38223E4HP	80P6N-D	M38223M4-XXXHP M38223E4-XXXHP M38223E4HP	80P6D-A		
E	P1-19 (左段)	キー入力割り込みは、ポートP2のうち入力に設定されている端子のいずれかに“L”レベルの電圧が印加されると、		キー入力割り込みは、ポートP2のうち入力に設定されている端子のいずれかに <u>立ち下がりエッジ</u> が検出されると、			
C	P1-21 上から 5 行目 (右段)	(ただし、リアルタイムポート制御ビットを“0”から“1”に変えたときにはタイマXの動きにかかわらずデータが出力されます。)		(ただし、 <u>リアルタイムポート用データを設定した後</u> 、リアルタイムポート制御ビットを“0”から“1”に変えたときにはタイマXの動きにかかわらずデータが出力されます。)			
A	P1-37 図 36 P2-203 図 2.9.3 の注意書き	注 . . . . . 上記以外のレジスタ及びRAMの内容はリセット時には不定ですので、初期値をセットしてください。		注 . . . . . 上記以外のレジスタ及びRAMの内容は <u>パワーオンリセット</u> 時には不定ですので、初期値をセットしてください。			
E	P1-47 表 16 電気的特性(2)	記号	項目	測定条件	記号	項目	測定条件
		I <sub>CC</sub>	電源電流	高速モード時、V <sub>CC</sub> =5V f(X <sub>IN</sub> )=8MHz (WIT 命令実行時) f(X <sub>CIN</sub> )=32.768kHz 出力トランジスタは遮断状態、 A-D 変換器動作中	I <sub>CC</sub>	電源電流	高速モード時、V <sub>CC</sub> =5V f(X <sub>IN</sub> )=8MHz (WIT 命令実行時) f(X <sub>CIN</sub> )=32.768kHz 出力トランジスタは遮断状態、 A-D 変換器終了状態
A	P1-49 表 18 タイミング 必要条件 1	記号	最小	記号	最小		
		t <sub>c</sub> (CNTR)	200	t <sub>c</sub> (CNTR)	250		
		t <sub>WH</sub> (CNTR)	80	t <sub>WH</sub> (CNTR)	105		
		t <sub>WL</sub> (CNTR)	80	t <sub>WL</sub> (CNTR)	105		
A	P1-49 表 19 タイミング 必要条件 2	記号	最小	記号	最小		
		t <sub>c</sub> (CNTR)	500	t <sub>c</sub> (CNTR)	500/(V <sub>CC</sub> -2)		
		t <sub>WH</sub> (CNTR)	230	t <sub>WH</sub> (CNTR)	250/(V <sub>CC</sub> -2)-20		
		t <sub>WL</sub> (CNTR)	230	t <sub>WL</sub> (CNTR)	250/(V <sub>CC</sub> -2)-20		
C	P2-43 下から 7 行目	リアルタイムポートからのデータ出力は、リアルタイムポート制御ビットを“1”にした時点から開始されます。		リアルタイムポートからのデータ出力は、 <u>タイマXモードレジスタのリアルタイムポート制御ビットを“1”にした時点</u> から開始されます (タイマXモードレジスタのリアルタイムポート制御ビットを“1”にする場合は、SEB命令を使用してください)。			

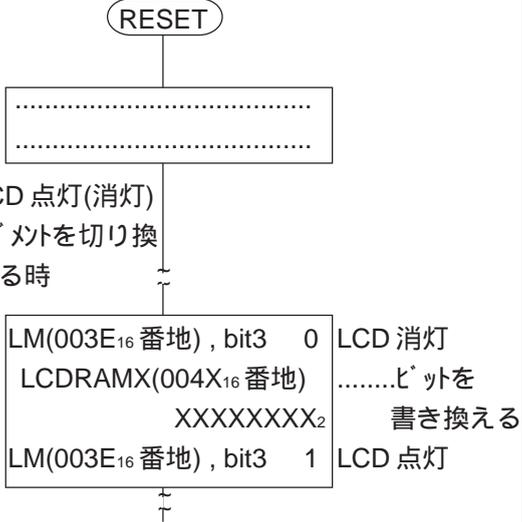
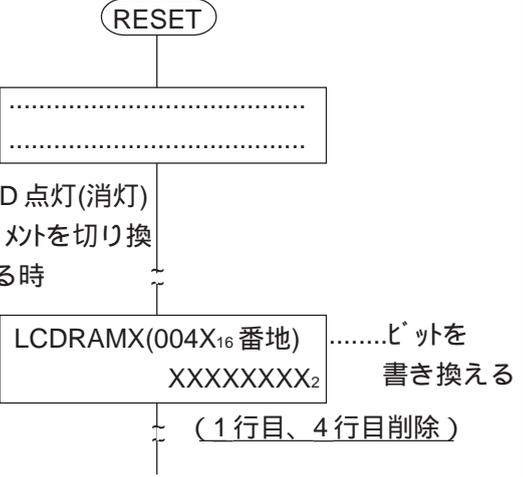
Rev.	訂正箇所	誤	正
D	P2-69 (1) タイマX タイマ モード 図 2.3.22	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は下記①の設定前に割り込み制御レジスタ1のタイマX割り込み許可ビット及び、割り込み要求レジスタ1のタイマX割り込み要求ビットをクリアし、下記④の設定後にタイマX割り込み許可ビットを許可状態“1”にしてください。	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、 ・タイマXのカウントを停止する前(下記①の設定前)、割り込み制御レジスタ1のタイマX割り込み許可ビットを“0”にしてください。 ・下記③の設定後に、割り込み要求レジスタ1のタイマX割り込み要求ビットを“0”にし、次に割り込み制御レジスタ1のタイマX割り込み許可ビットを“1”にしてください。 ・最後に④の設定を行ってください。
D	P2-70 (1) タイマX パルス出力 モード 図 2.3.23	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、下記①の設定前に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )、及び割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )をクリアし、下記⑤の設定後に割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )を許可状態“1”にしてください。	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、 ・タイマXのカウントを停止する前(下記②の設定前)、割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )を“0”にしてください。 ・下記④の設定後に、割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )を“0”にし、次に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )を“1”にしてください。 ・最後に⑤の設定を行ってください。
D	P2-71 (1) タイマX イベント カウンタ モード 図 2.3.24	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、下記①の設定前に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )、及び割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )をクリアし、下記⑤の設定後に割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )を許可状態“1”にしてください。	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、 ・タイマXのカウントを停止する前(下記②の設定前)、割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )を“0”にしてください。 ・下記④の設定後に、割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )を“0”にし、次に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )を“1”にしてください。 ・最後に⑤の設定を行ってください。
D	P2-72 (1) タイマX パルス幅 測定モード 図 2.3.25	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、下記①の設定前に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )、及び割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )をクリアし、下記⑤の設定後に割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )を許可状態“1”にしてください。	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、 ・タイマXのカウントを停止する前(下記②の設定前)、割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )を“0”にしてください。 ・下記④の設定後に、割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )を“0”にし、次に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマXまたはCNTR <sub>0</sub> )を“1”にしてください。 ・最後に⑤の設定を行ってください。

Rev.	訂正箇所	誤	正
D	P2-74 (2) タイマY タイマ モード 図 2.3.27	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は下記①の設定前に割り込み制御レジスタ1のタイマY割り込み許可ビット及び、割り込み要求レジスタ1のタイマY割り込み要求ビットをクリアし、下記④の設定後にタイマY割り込み許可ビットを許可状態“1”にしてください。	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、 ・タイマYのカウントを停止する前(下記①の設定前)、割り込み制御レジスタ1のタイマY割り込み許可ビットを“0”にしてください。 ・下記③の設定後に、割り込み要求レジスタ1のタイマY割り込み要求ビットを“0”にし、次に割り込み制御レジスタ1のタイマY割り込み許可ビットを“1”にしてください。 ・最後に④の設定を行ってください。
D	P2-75 (2) タイマY 周期測定 モード 図 2.3.28	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、下記①の設定前に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )、及び割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )をクリアし、下記⑤の設定後に割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )を許可状態“1”にしてください。	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、 ・タイマYのカウントを停止する前(下記②の設定前)、割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )を“0”にしてください。 ・下記④の設定後に、割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )を“0”にし、次に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )を“1”にしてください。 ・最後に⑤の設定を行ってください。
D	P2-76 (2) タイマY イベント カウンタ モード 図 2.3.29	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、下記①の設定前に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )、及び割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )をクリアし、下記⑤の設定後に割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )を許可状態“1”にしてください。	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、 ・タイマYのカウントを停止する前(下記②の設定前)、割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )を“0”にしてください。 ・下記④の設定後に、割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )を“0”にし、次に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )を“1”にしてください。 ・最後に⑤の設定を行ってください。
D	P2-77 (2) タイマY パルス幅HL 連続測定 モード 図 2.3.30	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、下記①の設定前に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )、及び割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )をクリアし、下記⑤の設定後に割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )を許可状態“1”にしてください。	[使用時の注意事項] 1. 割り込み処理を使用する場合は、 ・タイマYのカウントを停止する前(下記②の設定前)、割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )を“0”にしてください。 ・下記④の設定後に、割り込み要求レジスタの割り込み要求ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )を“0”にし、次に割り込み制御レジスタの割り込み許可ビット(タイマYまたはCNTR <sub>i</sub> )を“1”にしてください。 ・最後に⑤の設定を行ってください。

Rev.	訂正箇所	誤	正
A	P2-85、 P2-88 イベント カウンタ モード	イベントカウンタモードでの ..... V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:5MHz(200ns) V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:2MHz(500ns)です。 最小“H”パルス幅は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:80ns V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:230ns です。 最小“L”パルス幅は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:80ns V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:230ns です。	イベントカウンタモードでの ..... V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:4MHz(250ns) V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:(2 × V <sub>CC</sub> ) - 4MHz (500/(V <sub>CC</sub> -2)ns)です。 最小“H”パルス幅は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:105ns V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:250/(V <sub>CC</sub> -2)-20ns です。 最小“L”パルス幅は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:105ns V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:250/(V <sub>CC</sub> -2)-20ns です。
A	P2-86 パルス幅 測定モード	パルス幅測定モードでの最大入力周波数は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:5MHz(200ns) V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:2MHz(500ns)です。 最小“H”パルス幅は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:80ns V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:230ns です。 最小“L”パルス幅は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:80ns V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:230ns です。	パルス幅測定モードでの最小“H”パルス幅は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:105ns V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:250/(V <sub>CC</sub> -2)-20ns です。 最小“L”パルス幅は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:105ns V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:250/(V <sub>CC</sub> -2)-20ns です。
A	P2-87 周期測定 モード	周期測定モードでの最大入力周波数は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:5MHz(200ns) V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:2MHz(500ns)です。 最小“H”パルス幅は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:80ns V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:230ns です。 最小“L”パルス幅は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:80ns V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:230ns です。	周期測定モードでの最大入力周波数は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:4MHz(250ns) V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:(2 × V <sub>CC</sub> ) - 4MHz (500/(V <sub>CC</sub> -2)ns)です。 最小“H”パルス幅は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:105ns V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:250/(V <sub>CC</sub> -2)-20ns です。 最小“L”パルス幅は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:105ns V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:250/(V <sub>CC</sub> -2)-20ns です。
A	P2-88 パルス幅 HL 連続 測定モード	パルス幅 HL 連続測定モードでの最大 入力周波数は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:5MHz(200ns) V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:2MHz(500ns)です。 最小“H”パルス幅は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:80ns V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:230ns です。 最小“L”パルス幅は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:80ns V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:230ns です。	パルス幅 HL 連続測定モードでの最小 “H”パルス幅は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:105ns V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:250/(V <sub>CC</sub> -2)-20ns です。 最小“L”パルス幅は、 V <sub>CC</sub> =4.0 ~ 5.5V 時:105ns V <sub>CC</sub> =2.5 ~ 4.0V 時:250/(V <sub>CC</sub> -2)-20ns です。
E	P2-106 図 2.4.15	T123M (0029 <sub>16</sub> 番地) XX1XXXXX <sub>21</sub> タイマ1を接続 ICON2 (003F <sub>16</sub> 番地) OXXXX0XX <sub>2</sub> タイマ1割り込み禁止 ⋮	ICON2 (003F <sub>16</sub> 番地) OXXXX0XX <sub>2</sub> タイマ1割り込み禁止 T123M (0029 <sub>16</sub> 番地) XX1XXXXX <sub>2</sub> タイマ1を接続 ⋮

Rev.	訂正箇所	誤	正																								
B	P2-115 クック同期形 受信動作*2 P2-124 UART 受信動作*3	*2/3 : 受信バッファレジスタ内容が読み出されず、データが残っている(受信バッファフルフラグが“0”の状態)で.....	*2/3 : 受信バッファレジスタ内容が読み出されず、データが残っている(受信バッファフルフラグが“1”の状態)で.....																								
B	P2-122 送信シフト動作の図 (レジスタの内容)	<p>送信シフトレジスタ</p> <p>送信シフトレジスタ</p>	<p>送信シフトレジスタ</p> <p>送信シフトレジスタ</p>																								
B	P2-124 UART受信のスタートビット判定の図	<p>シフトクロック</p> <p>RxD(ノイズ)</p> <p>RxD(ST)</p>	<p>シフトクロック</p> <p>RxD(ノイズ)</p> <p>RxD(ST)</p>																								
B	P2-129 下から2行目	フラグが“0”の期間のみ可能です。	フラグが“1”の期間のみ可能です。																								
A	P2-141 図 2.5.24 [ 使用時の注意事項 ] の 4	4. シリアル I/O 受信割り込みを使用しない場合は、 <u>                    </u> を省略してください。	4. シリアル I/O 受信割り込みを使用しない場合は、 <u>          </u> を省略してください。																								
A	P2-142 図 2.5.25 クック非同期形 シリアル I/O モード受信 方法(2)の	<p>シリアル I/O 受信割り込みを許可</p> <p>...</p> <p>受信バッファレジスタ RB(0018<sub>16</sub> 番地)にデータを設定 全二重データ通信の場合は送信データを、 半二重データ通信の場合はダミーデータを書き込む</p> <p>シリアル I/O 割り込み処理を行う</p>	<p>シリアル I/O 受信割り込みを許可</p> <p>...</p> <p>シリアル I/O 割り込み処理を行う</p>																								
B	P2-155 図 2.6.4 A-D 制御 レジスタの b5  P3-22 図 3.3.12 A-D 制御 レジスタの b5	<table border="1"> <thead> <tr> <th>b</th> <th>ビット名</th> <th>機能</th> <th>リセット時</th> <th>R</th> <th>W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>A-D 外部トリガ有効ビット</td> <td>0:外部トリガ有効 (内部トリガ選択) 1:外部トリガ無効 (外部トリガ選択)</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	b	ビット名	機能	リセット時	R	W	5	A-D 外部トリガ有効ビット	0:外部トリガ有効 (内部トリガ選択) 1:外部トリガ無効 (外部トリガ選択)	0			<table border="1"> <thead> <tr> <th>b</th> <th>ビット名</th> <th>機能</th> <th>リセット時</th> <th>R</th> <th>W</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>A-D 外部トリガ有効ビット</td> <td>0:外部トリガ無効 (内部トリガ選択) 1:外部トリガ有効 (外部トリガ選択)</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	b	ビット名	機能	リセット時	R	W	5	A-D 外部トリガ有効ビット	0:外部トリガ無効 (内部トリガ選択) 1:外部トリガ有効 (外部トリガ選択)	0		
b	ビット名	機能	リセット時	R	W																						
5	A-D 外部トリガ有効ビット	0:外部トリガ有効 (内部トリガ選択) 1:外部トリガ無効 (外部トリガ選択)	0																								
b	ビット名	機能	リセット時	R	W																						
5	A-D 外部トリガ有効ビット	0:外部トリガ無効 (内部トリガ選択) 1:外部トリガ有効 (外部トリガ選択)	0																								

Rev.	訂正箇所	誤	正
C	P2-156 割り込み要因 選択ビット	<p>■ 割り込み要因選択ビット</p> <p>.....</p> <p>注.</p>	<p>(追加)</p> <p>注2 .外部トリガ選択時、割り込み要因選択ビットを“1”から“0”に、又は“0”から“1”に切り替える際、ADT/A-D 割り込み要求ビットが“1”になる場合があります。割り込みを禁止し、割り込み要因選択ビットを設定した後、割り込み要求ビットを“0”にしてから、割り込みを受け付けてください。</p>
E	P2-170 図 2.6.19	P6D: ポート P6 (000D <sub>16</sub> 番地)	P6D: ポート P6 方向レジスタ(000D <sub>16</sub> 番地)
B	P2-179 (2)LCDモード レジスタ b3 : LCD イネ - プル ビット	<p>b3 : LCD イネ - プルビット</p> <p>..... “0” にすると LCD 表示の全消灯を行います。</p> <p>LCD 表示の変更を行う場合は、必ず LCD の消灯を行ってから LCD 表示用 RAM の内容を書き換え、次に LCD の点灯を行うようにしてください(ちらつき防止)。</p>	<p>b3 : LCD イネ - プルビット</p> <p>..... “0” にすると LCD 表示の全消灯を行います。</p> <p>(以降削除)</p>
B	P2-184 図 2.7.7	<p>[使用時の注意事項]</p> <p>1.LCD の消灯を行ってから、LCD 表示データを書き換えてください。(点灯中に書き換えを行うと、ちらつく場合があります。)</p> <p>2. ポート P0、P1、P3<sub>4</sub> ~ P3<sub>7</sub> をプルダウンする</p> <p>.....</p>	<p>[使用時の注意事項]</p> <p>(1. は削除)</p> <p>1. ポート P0、P1、P3<sub>4</sub> ~ P3<sub>7</sub> をプルダウンする</p> <p>.....</p>
B	P2-185 図 2.7.8	 <p>LCD モードレジスタの設定</p> <p>b7 b0</p> <p>b3: LCDイネ - プルビット</p> <p>0: LCD 消灯</p> <p>LCD 表示用 RAM(0040<sub>16</sub> 番地)に表示用データを設定</p> <p>LCD イネ - プルビットを“1”に設定し、LCD を点灯</p>	 <p>LCD モードレジスタの設定</p> <p>b7 b0</p> <p>b3: LCDイネ - プルビット</p> <p>0: LCD 消灯</p> <p>1: LCD 点灯</p> <p>LCD 表示用 RAM(0040<sub>16</sub> ~ 004F<sub>16</sub> 番地)に表示用データを設定</p> <p>(削除)</p>

Rev.	訂正箇所	誤	正
B	P2-189 図 2.7.14	 <p>RESET</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>LCD 点灯(消灯) 切替を切り換える時</p> <p>LM(003E<sub>16</sub> 番地), bit3 0 LCD 消灯 LCDRAMX(004X<sub>16</sub> 番地) .....ビットを書き換える XXXXXXXX<sub>2</sub> LM(003E<sub>16</sub> 番地), bit3 1 LCD 点灯</p>	 <p>RESET</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>LCD 点灯(消灯) 切替を切り換える時</p> <p>LCDRAMX(004X<sub>16</sub> 番地) .....ビットを書き換える XXXXXXXX<sub>2</sub> (1行目、4行目削除)</p>
A	P2-198 (3)ウエイトモード 使用上の 注意事項	<p>キー入力割り込みでの復帰 キー入力 ..... 入力ポートに設定した後、STP 命令を実行してください。</p>	<p>キー入力割り込みでの復帰 キー入力 ..... 入力ポートに設定した後、WIT 命令を実行してください。</p>
A	P2-203 3 行目	<p>..... 図に示すレジスタ以外のレジスタ、内部RAMの状態は不定です。</p>	<p>..... 図に示すレジスタ以外のレジスタ、内部RAMの状態はパワーオンリセット時には不定です。</p>